

平成25年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年10月5日

上場取引所 大

上場会社名 和田興産株式会社

コード番号 8931 URL <http://www.wadakohsan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 高島 武郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 梶原 忍

TEL 078-361-5103

四半期報告書提出予定日 平成24年10月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第2四半期の業績(平成24年3月1日～平成24年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第2四半期	6,961	△48.5	214	△87.4	△119	—	△90	—
24年2月期第2四半期	13,515	13.4	1,694	379.5	1,343	—	814	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第2四半期	△9.04	—
24年2月期第2四半期	81.42	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年2月期第2四半期	49,733	13,944	28.0	1,394.46
24年2月期	47,408	14,186	29.9	1,418.62

(参考) 自己資本 25年2月期第2四半期 13,944百万円 24年2月期 14,186百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	0.00	—	15.00	15.00
25年2月期	—	0.00	—	—	—
25年2月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,500	13.1	2,600	1.2	1,850	0.0	950	41.5	95.00

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年2月期2Q	10,000,000 株	24年2月期	10,000,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年2月期2Q	168 株	24年2月期	99 株
----------	-------	--------	------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年2月期2Q	9,999,861 株	24年2月期2Q	9,999,901 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

当四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、当四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報をもとに作成したものであり、不確定要素が内在しておりますので、実際の業績は今後の様々な要因によって記載の予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料4ページの「(3)業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 業績予想に関する定性的情報.....	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項.....	5
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	5
(3) 追加情報.....	5
3. 四半期財務諸表.....	6
(1) 四半期貸借対照表.....	6
(2) 四半期損益計算書.....	8
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書.....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	10
(5) セグメント情報等.....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	11
4. 補足情報.....	12
生産、受注及び販売の状況.....	12

※当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。

この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

機関投資家・アナリスト向け決算説明会開催予定日

- ・神戸 開催予定日 平成24年10月19日（金）
- ・東京 開催予定日 平成24年10月22日（月）

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、欧州の債務危機、海外経済の停滞等をはじめ、依然として続く円高等による日本経済の伸び悩みが続くなか、全国的な節電意識の高まりや消費増税の決定等も相まって、今後の経済情勢については引き続き不透明な状況が続くものと予測されます。

不動産業界においては、分譲市場は低金利や政策支援等もあり、比較的安定的な状況が続いておりますが、賃貸市場においては、経済情勢を反映してコスト削減意識に拍車がかかるものと予測され、厳しい状況が続くものと思われまます。また、東日本大震災の復興が本格化しつつある現況において、マンションの建築費等の上昇が懸念され、今後の事業活動に影響を及ぼす可能性があるものと考えております。

このような事業環境のなか、当社においては、商業系の賃貸物件は軟調傾向が続いておりますが、住居系の賃貸物件や分譲マンションの契約の進捗については、比較的堅調に推移しており、主要事業である分譲マンションの販売に引き続き注力するとともに、賃貸用不動産のポートフォリオの最適化を目指すための施策への取り組みを行ってまいりました。

当事業年度においては、分譲マンションの竣工及び引渡しが第4四半期に集中する見込みであることから、当第2四半期累計期間における売上高は6,961百万円（前年同期比51.5%）、営業利益は214百万円（前年同期比12.6%）、経常損失は119百万円（前年同期は1,343百万円の経常利益）、四半期純損失は90百万円（前年同期は814百万円の四半期純利益）となりました。

なお、当社の主要事業である分譲マンション販売は、マンションの竣工後購入者へ引渡しが行われる際に売上高が計上されるため、開発時期や工期等により四半期ごとの業績に偏向が生じる場合があります。当事業年度においては、第4四半期会計期間に分譲マンションの引渡が集中する見込みであります。

セグメント別の業績は次のとおりであります。第1四半期会計期間より報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第2四半期累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

(分譲マンション販売)

主力の分譲マンション販売におきましては、開発の基盤となる優良用地は依然不足しているものの、低金利を背景とした住宅ローン金利の引き下げや政策支援等により、分譲マンション市場は比較的堅調に推移しており、当社としましては、新規発売物件を中心に、契約獲得に向けた販売活動に注力してまいりました。

なお、分譲マンションの引渡については、第4四半期会計期間に集中する見込みであることから、当第2四半期累計期間における売上高は5,267百万円（前年同期比46.0%）、セグメント利益（営業利益）は38百万円（前年同期比2.6%）となりました。

また、当第2四半期累計期間における分譲マンションの発売戸数は326戸（同93.4%）、契約戸数は317戸（同110.5%）、引渡戸数は140戸（同39.1%）、契約済未引渡戸数は707戸（同190.6%）となりました。

(戸建て住宅販売)

戸建て住宅販売の売上高は、戸建て住宅15戸の引渡により、売上高は483百万円（前年同期比64.8%）、セグメント損失（営業損失）は4百万円（前年同期は32百万円のセグメント利益）となりました。

（その他不動産販売）

その他不動産販売の売上高は、宅地販売2件により、売上高は120百万円（前年同期比64.1%）、セグメント利益（営業利益）は23百万円（前年同期は11百万円のセグメント損失）となりました。

（不動産賃貸収入）

不動産賃貸収入におきましては、前期に引き続きオフィス・テナント関連の賃料水準が弱含みで推移する中、住宅関連の入居率の向上と滞納率の改善に努めることにより、賃貸収入の安定的な確保を目指してまいりました。

その結果、不動産賃貸収入は1,067百万円（前年同期比95.0%）、セグメント利益（営業利益）は438百万円（同97.6%）となりました。

（その他）

その他の売上高は、保険代理店手数料収入等で23百万円（前年同期比119.1%）、セグメント利益（営業利益）は20百万円（同117.0%）となりました。

（2）財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第2四半期会計期間末における資産は、前期末に比べ2,324百万円増加し、49,733百万円となりました。

主な要因は、現金及び預金の減少799百万円等に対し、分譲用地の購入、建物建築費の支払い等により、仕掛販売用不動産が3,256百万円増加したこと等によるものであります。

（負債）

当第2四半期会計期間末における負債は、前期末に比べ2,566百万円増加し、35,788百万円となりました。

主な要因は、納税により未払法人税等が443百万円減少したこと等に対し、運転資金等の短期借入金が増加し963百万円増加、プロジェクト資金の調達に伴う長期借入金（1年内返済予定分含む）が807百万円増加、仕入債務が1,031百万円増加及び賃貸不動産に係る資金の借換えにより社債が144百万円増加したこと等によるものであります。

（純資産）

当第2四半期会計期間末における純資産は、前期末に比べ241百万円減少し、13,944百万円となりました。

主な要因は、利益配当金149百万円による利益剰余金の減少及び四半期純損失90百万円の計上によるものであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前期末に比べ789百万円減少し、4,023百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において、営業活動の結果減少した資金は、2,449百万円（前年同期は3,766百万円の減少）となりました。

主な要因は、仕入債務の増加による資金の増加1,031百万円等に対し、税引前四半期純損失118百万円の計上、たな卸資産の増加による資金の減少3,373百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において、投資活動の結果減少した資金は、106百万円（前年同期は284百万円の増加）となりました。

主な要因は、有形固定資産の売却による収入9百万円等の資金の増加に対し、定期預金の純増加5百万円及び有形固定資産の取得による支出109百万円等の資金の減少によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において、財務活動の結果増加した資金は、1,765百万円（前年同期は985百万円の増加）となりました。

主な要因は、長期借入金の返済2,636百万円及び配当金149百万円を支出したこと等に対し、マンション用地の購入資金等として長期借入金3,444百万円の調達、賃貸用不動産の資金調達として私募債の発行159百万円、運転資金等の短期借入金の増加963百万円による資金の増加によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当事業年度の業績予想につきましては、前回の発表どおりに推移するものと予測しておりますので予想の見直しは行っておりません。

投資家の皆様方におかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

なお、業績予想の内容につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報をもとに作成したものであり、不確定要素が内在しておりますので、実際の業績は今後の様々な要因によって記載の予想数値と異なる結果となる可能性がありますので、ご注意ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期会計期間 (平成24年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,674,679	5,875,487
売掛金	11,459	9,322
販売用不動産	2,663,667	2,780,520
仕掛販売用不動産	13,170,344	16,426,877
未収消費税等	123,724	48,090
繰延税金資産	80,128	157,504
その他	302,508	317,681
貸倒引当金	△1,461	△1,479
流動資産合計	23,025,051	25,614,004
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	10,756,739	10,577,054
土地	12,396,774	12,393,314
その他（純額）	131,797	118,849
有形固定資産合計	23,285,311	23,089,218
無形固定資産	376,399	375,176
投資その他の資産		
その他	765,597	700,952
貸倒引当金	△43,451	△46,003
投資その他の資産合計	722,145	654,949
固定資産合計	24,383,856	24,119,343
資産合計	47,408,908	49,733,348

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期会計期間 (平成24年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,206,354	4,238,008
短期借入金	2,226,700	3,189,700
1年内償還予定の社債	30,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	6,000,843	6,726,167
未払法人税等	451,630	8,023
前受金	1,624,665	1,770,750
賞与引当金	76,470	72,821
役員賞与引当金	5,600	5,350
完成工事補償引当金	12,000	8,000
資産除去債務	22,840	25,248
その他	536,682	514,892
流動負債合計	14,193,785	16,588,962
固定負債		
社債	990,000	1,134,800
長期借入金	16,855,472	16,937,552
退職給付引当金	122,213	117,491
役員退職慰労引当金	368,271	342,898
資産除去債務	80,258	82,870
その他	612,887	584,363
固定負債合計	19,029,104	19,199,975
負債合計	33,222,890	35,788,937
純資産の部		
株主資本		
資本金	891,250	891,250
資本剰余金	936,439	936,439
利益剰余金	12,364,835	12,124,424
自己株式	△27	△56
株主資本合計	14,192,496	13,952,057
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,276	1,133
繰延ヘッジ損益	△9,754	△8,780
評価・換算差額等合計	△6,478	△7,647
純資産合計	14,186,018	13,944,410
負債純資産合計	47,408,908	49,733,348

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
売上高	13,515,936	6,961,283
売上原価	10,584,788	5,403,706
売上総利益	2,931,148	1,557,577
販売費及び一般管理費	1,236,314	1,343,539
営業利益	1,694,833	214,037
営業外収益		
受取利息	1,885	2,232
受取配当金	2,296	2,293
保険解約返戻金	—	10,388
受取手数料	2,863	1,036
貸倒引当金戻入額	2,457	648
その他	1,380	6,960
営業外収益合計	10,883	23,560
営業外費用		
支払利息	306,470	315,705
その他	55,517	41,256
営業外費用合計	361,987	356,961
経常利益又は経常損失(△)	1,343,729	△119,363
特別利益		
有形固定資産売却益	241,677	611
特別利益合計	241,677	611
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	47,634	—
訴訟損失引当金繰入額	31,000	—
特別損失合計	78,634	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	1,506,772	△118,752
法人税、住民税及び事業税	731,000	2,000
法人税等調整額	△38,389	△30,340
法人税等合計	692,610	△28,340
四半期純利益又は四半期純損失(△)	814,161	△90,411

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	1,506,772	△118,752
減価償却費	288,598	303,899
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,855	2,569
賞与引当金の増減額(△は減少)	944	△3,649
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	5,000	△250
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	1,000	△4,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	10,597	△4,722
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	10,775	△25,373
訴訟損失引当金の増減額(△は減少)	31,000	—
受取利息及び受取配当金	△4,181	△4,525
支払利息	306,470	315,705
有形固定資産売却損益(△は益)	△241,677	△611
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	47,634	—
有形固定資産除却損	20,796	31,325
売上債権の増減額(△は増加)	132	2,136
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,192,238	△3,373,385
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,181,823	1,031,654
前受金の増減額(△は減少)	△488,729	146,085
その他	△454,239	9,201
小計	△3,329,312	△1,692,690
利息及び配当金の受取額	3,518	3,496
利息の支払額	△285,676	△319,851
法人税等の支払額	△154,582	△440,054
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,766,052	△2,449,100
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△178,270	△5,353
有形固定資産の取得による支出	△630,274	△109,192
有形固定資産の売却による収入	1,132,106	9,129
無形固定資産の取得による支出	△7,917	△6,988
その他	△31,005	6,152
投資活動によるキャッシュ・フロー	284,638	△106,252
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	738,501	963,000
長期借入れによる収入	5,814,255	3,444,400
長期借入金の返済による支出	△5,452,325	△2,636,996
社債の発行による収入	—	159,800
社債の償還による支出	△15,000	△15,000
自己株式の取得による支出	—	△28
配当金の支払額	△99,787	△149,568
財務活動によるキャッシュ・フロー	985,642	1,765,606
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,495,771	△789,746
現金及び現金同等物の期首残高	8,014,924	4,812,857
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,519,152	4,023,111

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第2四半期累計期間（自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日）

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

区分	報告セグメント					その他 (千円)	合計 (千円)
	分譲 マンション 販売 (千円)	戸建て住宅 販売 (千円)	その他 不動産販売 (千円)	不動産 賃貸収入 (千円)	計 (千円)		
売上高							
外部顧客への 売上高	11,440,485	745,677	187,100	1,123,006	13,496,270	19,666	13,515,936
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	11,440,485	745,677	187,100	1,123,006	13,496,270	19,666	13,515,936
セグメント利益 又は損失（△）	1,510,355	32,661	△11,932	449,478	1,980,563	17,843	1,998,407

(注) 「その他」の区分には、報告セグメントには含まれない事業セグメントであり、解約手付金収入及び保険代理店手数料収入等を含んでおります。

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額（千円）
報告セグメント 計	1,980,563
「その他」の区分の利益	17,843
全社費用（注）	△303,573
四半期損益計算書の営業利益	1,694,833

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第2四半期累計期間（自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日）

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

区分	報告セグメント					その他 (千円)	合計 (千円)
	分譲 マンション 販売 (千円)	戸建て住宅 販売 (千円)	その他 不動産販売 (千円)	不動産 賃貸収入 (千円)	計 (千円)		
売上高 外部顧客への 売上高	5,267,604	483,215	120,000	1,067,041	6,937,861	23,422	6,961,283
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	5,267,604	483,215	120,000	1,067,041	6,937,861	23,422	6,961,283
セグメント利益 又は損失	38,741	△4,954	23,223	438,673	495,683	20,874	516,557

(注) 「その他」の区分には、報告セグメントには含まれない事業セグメントであり、解約手付金収入及び保険代理店手数料収入等を含んでおります。

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額 (千円)
報告セグメント 計	495,683
「その他」の区分の利益	20,874
全社費用 (注)	△302,520
四半期損益計算書の営業利益	214,037

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

③ 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は従来、商品・サービス別の事業部を置き、その事業部を基礎とした商品・サービス別セグメントから構成されており、「分譲マンション販売」「その他不動産販売」「不動産賃貸収入」の3つを報告セグメントとしておりましたが、住宅販売を主要事業とする当社においては、「その他不動産販売」に含まれる戸建て住宅について、独立した報告セグメントに区分することにより、今後の経営資源の配分の決定及び業績の評価に有用であると判断したことから、第1四半期会計期間より「戸建て住宅販売」を報告セグメントとして区分することといたしました。

これにより当社の報告セグメントは、「分譲マンション販売」「戸建て住宅販売」「その他不動産販売」「不動産賃貸収入」の4区分に変更しております。

当該変更に伴い、前第2四半期累計期間の「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

① 販売実績

当第2四半期累計期間におけるセグメントごとの販売実績

セグメントの名称	当第2四半期累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)				
	物件名	戸数 (戸)	金額 (千円)	構成比 (%)	前年同期比 (%)
分譲マンション販売	ワコーレ芦屋エンブレム	30	1,666,055	—	—
	ワコーレ須磨鷹取ガーデンズ	39	1,062,509	—	—
	その他分譲マンション	71	2,539,038	—	—
	小 計	140	5,267,604	75.7	46.0
戸建て住宅販売	戸建て住宅	15	483,215	—	—
	小 計	15	483,215	7.0	64.8
その他不動産販売	宅地等の販売	—	120,000	—	—
	小 計	—	120,000	1.7	64.1
不動産賃貸収入	賃貸マンション等の賃貸収入	—	1,067,041	—	—
	小 計	—	1,067,041	15.3	95.0
その他	その他の収入	—	23,422	—	—
	小 計	—	23,422	0.3	119.1
合 計		155	6,961,283	100.0	51.5

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 分譲マンション販売の金額には、住戸売上のほかに分譲駐車場の金額が含まれております。

3. 戸建て住宅販売及びその他不動産販売の前年同期比については、前年同期の金額をそれぞれ組み替えて比較しております。

4. 分譲マンション販売は、マンションの竣工後購入者への引渡しが行われる際に売上高が計上されるため、開発時期や工期等により四半期ごとの売上実績に偏向が生じる場合があります。

5. その他不動産販売、不動産賃貸収入及びその他には、販売住戸が含まれていないため、戸数表示はしておりません。

② 契約実績

当第2四半期累計期間におけるセグメントごとの契約実績

セグメントの名称	当第2四半期累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)					
	期中契約高			契約済未引渡残高		
	戸数 (戸)	金額 (千円)	前年同期比 (%)	戸数 (戸)	金額 (千円)	前年同期比 (%)
分譲マンション販売	317	10,633,391	118.7	707	21,761,362	189.1
戸建て住宅販売	30	970,008	177.2	15	486,793	275.9
その他不動産販売	—	25,000	13.4	—	—	—
合計	347	11,628,400	120.0	722	22,248,156	190.4

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 分譲マンション販売の金額には、住戸売上のほかに分譲駐車場の金額が含まれております。

3. 共同事業の戸数及び金額は、出資割合によりそれぞれ計算（小数点以下切捨て）しております。